

高齢者虐待・セルフネグレクトに気づいたら

高齢者虐待は、意図がなくても介護の負担や追い詰められた状況等から、身近な場所で起こることがあります。

殴る・蹴るだけでなく、怒鳴る・無視する・介助をしない・食事を減らす・お金を勝手に使うなども虐待です。

「もしかして…」と感じたら、抱え込まずにご相談ください。

早めの対応が、本人の安全と尊厳を守ります。

大丈夫かな…？

相談してみよう

◆こんなサインに気づいたら

- ✓ 原因がはっきりしないあざや傷がある／骨折や打撲が多い
- ✓ 表情が暗い、急に元気がなくなった／怖がったりおびえたりする
- ✓ 食事などが不十分
- ✓ 家の中から叩く音や怒鳴り声が聞こえてくる
- ✓ 本人が自由に使えるお金を持っていない
- ✓ 「誰にも言わないで」と強く言う
- ✓ 入浴や清拭ができていない／おむつの管理が不十分

※確信がなくても大丈夫です。心配なことがあれば、相談してください。



◆セルフネグレクト(自己放任)も“助けが必要なサイン”です

セルフネグレクトは、自らの意思で介護・医療サービスの利用を拒否するなどにより、社会から孤立し、生活行為や心身の健康維持ができなくなっている状態をいいます。

- 食事が十分にとれていないのか痩せてきた
- 服装や髪が清潔な状態を保てていない
- 明らかに体調が悪そうなのに病院へ行くことを拒む
- 引きこもりがちで、訪問や声かけを拒否する
- 家の内外にゴミが溜まっていたり異臭がする など

「本人の意思だから」と片づけず、支援につなげるために相談してください。



◆介護をしている家族へ

介護は、長く続くほど疲れや不安が増えます。

困ったときは、早めに相談して支援を受けましょう。

【相談先・問合せ】 城里町地域包括支援センター(長寿応援課) ☎ 029-353-7125(直通)